



令和5年10月24日(火) 晴 No. 15



▲会長挨拶



▲松尾会員卓話

会長の時間

会長 釜谷 和明

皆さんこんにちは。

10月最後の例会となりました。先週は職場例会として芝本直前会長の会社で開催させて頂きましたが、会社の方々に大変お世話になり、ありがとうございました。また、担当させて頂きました職業奉仕委員会の中田委員長をはじめ委員の皆様、ありがとうございました。私が小さい頃から知っている芝本産業から50数年後の SICHER、その変化に驚くと共に、自社の変化を拒んできた私自身に対して、考えさせられるものがありました。私個人としましては、「地域社会の経済発展月間」の一環として有意義な例会になったと感謝しております。

今日は時間がありますので、最近思っている事をお話しさせていただきます。

テレビで国会中継での議員のヤジ。本人はアピールして仕事をしているつもりかもしれませんが、子供達には見せたくもないですし、高い報酬を受け取っていると思うといやになります。また、報道番組でのコメンテーター、事件の記者会見での質問をする記者。納得の質問や意見を述べられている方もいるのですが、そうでない方が増えた様に感じてなりません。

私が30代の時、とある事件がおきました。私が見聞きし、全容を把握している件でしたが、新聞記事になり、それを読んだ時、愕然としました。あまりにも内容が違い、読み手に興味を引く事を意識しただけの記事になっていたからです。その後、疑問に思う記事は他の新聞も見erようになりました。自分が判断するには、そうしないと誘導されてしまうと感じたからです。最近、直ぐに携帯電話で検索し、非常に便利な時代になったと思います。しかし、その情報の中にはフェイクニュースも混ざっています。重要なことは、最終判断は自分で責任を持てる情報収集をし、自分自身で判断をする事だと思います。

その重要性和難しさを最近特に強く感じています。

レベルの低い話をしてしまい、申し訳ありませんでした。

今日は松尾会員による卓話です。今加古川に住まいし、働いている外国人のトップはベトナム人です。今後我々も役立つ情報もあろうかと思ひます。どうぞ宜しくお願い致します。これで会長挨拶に代えさせていただきます。

幹事報告

- 1) BOX に「ハイライトよねやま」を入れております
- 2) 地区より頂いております、「地区ローターアクト2023－24年年度関西地区情報交換会・交流会のご案内」「第38回インターアクト地区年次大会のご案内」、「地区補助金プロジェクト一般見学(伊丹)のお知らせ」を回覧します。
- 3) 地区より「ポール・ハリス・ソサエティ入会」についてのご連絡をいただきましたのでご紹介させていただきます。
ポール・ハリス・ソサエティは、年次基金、ポリオプラス、または承認された財団補助金プロジェクトに、**毎年 1,000 米ドル以上を寄付**くださる方を認証するプログラムで、財団への継続的な支援に感謝の気持ちを示すことを目的としています。
入会のご希望、ご興味がおありの方がおられましたら、例会場受付に詳しい資料を置いておりますのでどうぞご覧ください。
- 4) 加古川中央 RC より創立50周年記念式典のご出席のお礼状を頂いておりますので、参加者にお渡ししております。参加して頂いた皆様、ありがとうございました。
- 5) 本日例会終了後、加古川商工会議所会館4階特別会議室に於いて、第1回70周年実行委員会正副部会長会議兼歴代会長会議を開催します。

ニコニコ



- | | | | |
|---|---|---|---|
| 省 | 略 | ☺ | 3クラブ合同例会では、親睦委員会の皆様にお世話になり、ありがとうございました。 |
| 省 | 略 | ☺ | 職場例会では芝本直前会長、そして職業奉仕委員会の皆様にお世話になり、ありがとうございました。 |
| 省 | 略 | ☺ | 松尾会員、本日の卓話よろしくお願ひ致します。 |
| 省 | 略 | ☺ | 遅くなりましたが、3クラブ合同例会へのご参加ありがとうございました。 |
| 省 | 略 | ☺ | 芝本会員、中田委員長、職場例会ではお世話になりありがとうございました。 |
| 省 | 略 | ☺ | 松尾委員長、本日の卓話よろしくお願ひいたします。 |
| 省 | 略 | ☺ | いつも例会を欠席して申し訳ありません。 |
| 省 | 略 | ☺ | 本日、第1回目の創立70周年実行委員会を開催します。これからスタートです。よろしくお願ひします。 |
| 省 | 略 | ☺ | 先週の職場例会お世話になりました。本日は松尾会員の卓話楽しみです。 |
| 省 | 略 | ☺ | 松尾会員、本日の卓話楽しみです。 |
| 省 | 略 | ☺ | 松尾さん卓話ががんばってください。おもしろい話期待してます。 |
| 省 | 略 | ☺ | 職場例会楽しかったです。HER様ありがとうございました。本日の松尾会員の卓話楽しみです。 |
| 省 | 略 | ☺ | 結婚記念のお祝のお花ありがとうございました。2週間余り楽しめました。 |
| 省 | 略 | ☺ | 松尾会員卓話宜しくお願ひします。 |
| 省 | 略 | ☺ | 17日の職場例会では(株)HER代表取締役の芝本会員、米田さん、従業員の皆様にお世話になりました。ありがとうございました。ご参加下さいました会員の皆様も少し遠いところありがとうございました。 |
| 省 | 略 | ☺ | 22日(日)、地区の職場奉仕セミナーにご参加下さいました、山本正人会員、橋本直会員、下山会員、誠にありがとうございました。 |

省 略 ☺ テーブルの花いただきます。

以上17件 ¥26.000-
本年度累計¥694.000-

出席委員会

☆ 今 週 会員数 73 名 出席 48 名 出席免除 9 名 欠席 16 名
☆ 欠 席 者 省略

☆ 前 々 週 会員数 73 名 出席 48 名 出席免除 15 名 欠席 10 名
☆ メークアップ 職業奉仕セミナー 10/22 中田、山本正、下山、橋本直

親睦活動委員会

例会場当番

10月31日(火) 衣笠、船原
11月 7日(火) 藤本光、古庄



プログラム委員会

本日10月24日(火)	10月31日(火)	11月7日(火)	11月14日(火)
卓話 「最近の ベトナム事情」 松尾担当	卓話 「滝川工業(株)の 事業紹介」 瀧川担当	新会員自己紹介 中村担当	例会変更(日時・場所変更) 親睦旅行 11月18日～19日(土日) 行先;徳島県 親睦活動委員会担当

ポリオ根絶のための飛行

ロータリー会員がセスナ機で世界を一周し、ポリオ根絶を支援

文: Geoffrey Johnson

米国のジョン・オッケンフェルスさん(アイオワシティ AM. ロータリークラブ会員)とピーター・ティーエンさん(シーダーラピッズ・ウェスト・ロータリークラブ会員)は、エンジン 1 基のセスナ機を操縦して 3 カ月間で地球を一周し、ポリオ根絶のための募金と認識向上を行いました。しかし、その実現までには実に 3 年の月日がかかりました。

このチャリティ飛行のアイデアが生まれたのは、2018 年。パイロット歴 50 年以上のティーエンさんは、自身の小型飛行機で世界一周できるかとふと考え、妻ジャネットさんにその話をしてみました。そのうちに夫の関心も薄れるだろうと考えたジャネットさんは、とりあえず実現が可能かどうか検討してみることを勧めました。

数か月後、入念な検討をしたティーエンさんは、世界一周は可能という結論に達し、決行を決意。これに驚いたジャネットさんは、違うアプローチで夫の気を変えさせようと思いました。「一緒に行ってくれるクレイジーな人を見つけられたら、行ってもいいわ」

しかし、またも驚いたことに、ティーエンさんはそのような人を見つけました。それが、ジャネットさんの従兄、オッケンフェルスさんでした。飛行機を 3 機所有するオッケンフェルスさんは、(ティーエンさんいわく)「クレイジー」という点で条件を満たしていました。

二人は会い、長時間、世界一周飛行について話しました。そして別れ際、ティーエンさんはオッケンフェルスさんにこう言いました。「なんなら君も一緒に来るかい？」

そのときのことを、オッケンフェルスさんはこう振り返ります。「内なる少年がよみがえり、『これ



ポリオ根絶の募金と認識向上のために世界一周飛行を達成したジョン・オッケンフェルスさんとピーター・ティーエンさん。

は面白くなるぞ』と心の中で飛び跳ねました。でも、人生で多少の経験を積んだ大人として、この挑戦が何を意味するかわかっていましたから、とりあえず『考えてみるよ』とだけ答えました。承諾する前に妻デブさんに話したいという思いもありました。

数週間後、オッケンフェルスさんは飛行への同乗を決意していたものの、まだデブさんには話せずにいました。そんな時、ある店で夫婦で食事をしていたとき、偶然ジャネットさんがやってきました。「あと 10 分もすれば、世界一周飛行の計画が妻にばれる」。オッケンフェルスさんはそう思いました。「しかし妻は、すぐにサポートしてくれました。実際、その後も二人の妻たちは献身的に私たちを支えてくれたんです」

実行計画を立て始めたティーエンさんとオッケンフェルスさんは、この飛行をチャリティの目的で行うことを決めました。ティーエンさんはこう言います。「人道的・慈善的な目的を持つことが、私たちにとっては大切でした。だから、ポリオ根絶のために飛ぶことにしたんです」。最初から費用(約 10 万ドル)は自腹を切るつもりだったため、募金の全収益はポリオ根絶のためにロータリー財団に寄付することにしました。

計画が整い、2020 年 3 月に出発することを決定。しかし、出発まであと 10 日というとき、新型コロナウイルスで世界が閉鎖されました。すぐに平常に戻ると見込んだ二人は出発を秋まで延期しましたが、それも叶わず何度か延期を余儀なくされました。

2022 年、ようやく出発と思った矢先、ロシアがウクライナに侵攻。北ルートでロシア上空を飛行する予定でしたが、それができなくなりました。もっと難しい南ルートでの世界一周飛行は「危険すぎた」とオッケンフェルスさんは言います。「距離が長く、燃料の補給もできません。実行は不可能に思われました」。それでも二人はあきらめませんでした。

当初、ティーエンさんが所有するパイパー社製の小型機で飛ぶ予定でしたが、「話し合った結果、もっと大きいセスナ 210 が必要だということになりました」。二人はそれぞれ所有する飛行機を売却し、新しいセスナ機を購入。その後の数か月間、世界一周に耐えられるようセスナ機に調整を加え、必要な場合に燃料を補給するための手配も行いました。

決行当日の今年 5 月 5 日、ポリオ根絶のために(ゲイツ財団からの 2 倍額の上乗せを含めて)既に 100 万米ドルを集めたという発表を行った後で、二人はセスナ機に乗り込み、不可能と思われた「クレイジー」な旅に出発しました。ティーエンさんはこう語ります。「この旅の途中でジョンは 71 歳に、私は 70 歳になりました。でもまだ心はやんちゃです」

その後の 12 週間、二人が操縦するセスナは途中 37 カ所(19 カ国)に立ち寄り、困難にも遭遇しました。体調不良によりティーエンさんが一時入院し、オッケンフェルスさんは数日間ソロで飛行しました。さらに、太平洋上を飛行中に電気系統に不具合が生じ(後に修理)、パキスタンのカラチに立ち寄ったときには武装兵士たちに出くわすという緊張の瞬間もありました。「思わずピーターに目をやり、手をあげて降参すべきか、手を振って挨拶すべきか迷いました」とオッケンフェルスさん。「でも実際には、(兵士たちは)飛行機に関心があっただけでした」

カラチでは記者会見にも臨みました。そこで、ある記者がこう質問しました。「ここ(パキスタン)でポリオがもうすぐ根絶されると今も期待していますか」。これに対し、ティーエンさんはこう答えました。「いいえ、ポリオが根絶されると期待はしていません。期待でなく、そう信じています」

途上で 24 回の募金に参加した二人は、7 月 30 日、約 41,800 キロの飛行を終えて、シーダーラピッツの空港に無事着陸しました(募金の合計額は現在集計中)。

「飛行機から降りた後、迎えてくれたロータリーの仲間たちに気を取られていましたが、ふと振り返ると、そこにジャネットがいました」とティーエンさん。「私たちはそこに座り、ひたすら涙を流しました。ずっと離れ離れでしたから。私の一番の目標は、無事家族の元に帰ることでした。それが達成できたんです」



世界一周飛行したセスナ 210 に乗ったティーエンさんとオッケンフェルスさん。

ポリオ根絶のためにご寄付をお願いいたします